



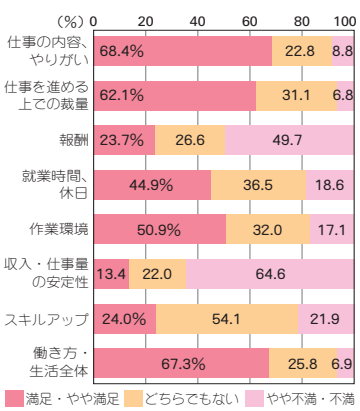
多様な働き方の一つに「在宅ワーク」という選択肢も… あなたの強みを生かせば 自宅でも仕事ができる時代

在宅ワークとは
パソコンなどの情報通信機器を使い、請負契約に基づいてサービスの提供などを行うこと。在宅勤務や内職とは異なります。

多様な働き方の一つに「在宅ワーク」という選択肢も…
在宅ワークの状況は時代とともに変化しています。以前は、データ・文書入力などの単純作業が主流でしたが、発注側の中でこれに当てるのは、単に安い労働力を求めるのではなく、在宅ワークに求められるスキルを備えることが多くなっています。現在は、ウェブサイトの作成や運営、システム開発やデザイン、設計や翻訳といった専門性を必要とする仕事、看護師や薬剤師などの資格を生かせる仕事が増えています」と大嶋さん。新たなアイデアやスキルを活かせる在宅ワークを積極的に活用する大手企業も目立ってきているそうです。

在宅ワークを始めたと思ったら
「まずは、在宅ワークを正しく知ることが大切。フリーランスは、会社員や内職と異なり、基本的に個人事業主なので、仕事のスキルだけでなく、やライターの養成の講習を開催しているところもあります。これらに参加してスキルを磨き、人脈を広げるのも一つの方法です。また、家や育児と仕事を両立を心配する声も、実際に在宅ワークを軌道に乗せている先輩ミセスの話を聞くと、子どもが小さいうちは無理をしないこと、子どもが学校に通っている間は集中して作業し、一緒に過ごすときは真剣に向き合うなど、生活にメリハリをつけることです」。家族とよく話し合い、理解や協力を得ることも、もちろん大切です。

参考サイト「ホームワーカーズウェブ」
<http://www.homeworkers.jp/>



在宅ワークに対する満足度

住みよい広島をみんなで考えていきたいと思います。記事へのご意見や感想、要望などは、編集長ダイレクトメールへお寄せください。
hensyucho@hiving.jp



政府が掲げる成長戦略の一つ、「女性の活躍の推進」に沿って、女性の働き方も多様化しています。在宅ワークもその一つで、近年ワーカーの数が増え続け、約130万人とも言われています。在宅ワークにはどんな仕事があるのか、需要は？…そんな疑問を在宅ワーク事情に詳しい、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの大嶋淳俊さんに聞きました。



大嶋淳俊さん(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)経済・社会政策部主任研究員)

同社は、厚生労働省から委託を受け、「在宅就業者総合支援事業」の事務局として、在宅ワークの総合支援サイト「ホームワーカーズウェブ」の運営やセミナー開催などを行っています

在宅ワークの難しさ

- ①賃金が安く、生計が成り立たないため労働とはいえないケースがある
- ②仕事に対する責任感があいまいで、趣味の延長と思われるケースがある
- ③業務内容が限られていて、仕事の発注が少くない
- ④自宅という環境下では、本人の自覚がしっかりとないと仕事にならない